

---

# 人口削減

西 睦月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

人口削減

### 【Nコード】

N3779S

### 【作者名】

西 睦月

### 【あらすじ】

世界で人口爆発が起きてる時代。

日本は人口増加が第一の社会問題になっていた。

そんな中、世界最大の災害により食料が無くなったため政府は人口削減計画を実行にうつした。

## 1 災害（前書き）

アドバイスください!!!

## 1・災害

日がさす夏の日。今日は今年一番の暑さらしい。日曜ということもありほとんどの人がクーラーのきいた家に隠る。そんな中、スーツを着た50代の男が中井家と刻まれた墓石の前でしゃがみこんでいた。男が目を瞑ると忌まわしいあの時の記憶が蘇る。忘れようと思っても忘れられない、残酷で理不尽な出来事の記憶。あの時、僕は弱かった。自然と目から涙が流れ地上に落ちた。

「加奈……」

もう50年前の話。あれは前代未聞の大地震から始まった……。あの時の日本も今と変わらない。1週間後の食べ物さえ見えない程に日本人口は増えていた。人口爆発は世界中で起きていたが日本ほど悪化している国はなかった。アメリカの食料輸入に頼りきっていた日本にとってあの時の大地震は大打撃だった。

\* \* \*

53年前の2136年。夏。

この日、日本列島は大きく揺れた。しかし、それに気付いたのは少数の人間だけ。東京都のとある大学の生徒も揺れに気がつかなかった。

今までで例の無いほどの大地震が発生しました。震源は岩手県沖とみられています

寮に一つしかないテレビに大勢の生徒が群がっている。テレビに映っているのは完全に破壊された仙台の町だった。世界最高峰の免震技術を持った日本でも耐えることのできない地震が起きた。テレビの町に建物はなかった。がれきだけの世界が映っていた。市川ゆきはテレビの前で固まっていた。変わりはてた自分の故郷の町がそこにあったからだ。大切な人がまだそこにいた。

「母ちゃん……」

ゆうきの目から今にも涙がこぼれそうだった。ゆうきは自分の部屋

に戻り崩れた。

母親なんて……。一瞬そう思った。

「入るぞ」

そう言っただけで入ってきたのは明智先生だった。

「ゆうき、大丈夫か？」

明智はゆうきの担任で出身地を知っていたのだろう。

「はい」

「一時間ぐらい休んでろ」

「大丈夫です」

その時校内アナウンスがはいった。

明智先生、お電話です。至急事務室まで

「……じゃあちよつと行ってくる」

先生が出ていった部屋は静かだった。

市川由利子は薄れいく意識のなかで必死に助けを呼んでいた。由利子のお腹からは大量に血が出ている。家のがれきが深く刺さっている体はもう限界だった。

「だれか……」

由利子が意識を失った数分後、生存者を探す人たちの声がした。

今日の授業はいつも通り行います

校長が放送で話している。ここらは被害が少ないからしかたがないだろう。明智はそんなことを思いながら事務室の電話をとった。

「もしもし、……はい、はい市川ゆうきの担任の明智です……」

……！亡くなった……」

明智は電話の内容を伝えるため足取り重くゆうきの部屋に向かった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3779s/>

---

人口削減

2011年10月8日23時22分発行